

【教育目標】

進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.2

令和5年5月2日

中央台東小学校

校長 松崎 健一

「皆さんで、元気で楽しい自分たちの中央台東小学校を創りましょう。」



1年生の開会の言葉。とても立派でしたよ！

令和5年度 春の運動会 子どもたちは頑張りました！！

風が強い中ではありましたが、青空の下、観戦者数の制限をせずに全学年で開催することができました。多くの応援や拍手の中、子どもたちはとても元気にはつらつと演技することができました。1学期がスタートして2週間という短い期間での練習でしたが、子どもたちや先生方の集中力や連携が素晴らしく、無事に終わることができました。



運動会の成功には5・6年生の係活動が不可欠です。キビキビと動き、低学年に優しくていねいに、そして考えて活動し、自分たちの運動会を創ってくれました。



～運動会後の子どもの声を一部紹介します～

- ・ あきらめずに最後まで頑張りました。お母さんたちが見ていて勇気が出ました。
- ・ おじいちゃんおばあちゃんも見に来たり、他の学年の運動会も見ることができたりしたので、とても楽しかった。
- ・ 運動会が全校生のできるの、練習の時からわくわくしていました。全校生でやれた運動会は、盛り上がったので頑張れました。とても楽しかったです。
- ・ 負けてしまったけれど、友達と最後まで協力して演技できたので、とても楽しかったです。
- ・ 私の白組は負けてしまったけど、皆で一生懸命に頑張ったのでいい運動会でした。来年も楽しみです。
- ・ かけこのスタートのタイミングが上手いかなかったけど、一生懸命に走ったので、お母さんが誉めてくれました。
- ・ 「用意。スタート！」の一步で転んでしまいました。でも不思議なことに痛みを感じず、足が前に出ていました。そして何人かを次々に抜き2位になりました。
- ・ 目標は2位だったけど、4位でも嬉しいです。あきらめなくてよかったです。



- ・ Aさんに抜かされてしまい4位になってしまいました。3位になれませんでした。悔しい思いでいっぱいでした。次は、Bさんを抜かせるぐらい速くになりたいです。
- ・ 「だるま3」で、紅組が勝ちましたが、白組がまだ終わっていなかったから紅組全員で白組を応援しました。
- ・ 「だるま3」では負けてしまったけれど、皆で元気に頑張ったので、全然悔しくなかったです。
- ・ 応援団長がかっこよかった。6年生になったら応援団長になりたいと思います。
- ・ 班長のBさんの棒引きが、かっこよかった。
- ・ リレーの選手に選ばれたので必死に走りました。皆の応援があったので頑張れました。

先月14日にPTA総会が開かれました。その際「校長あいさつ」で保護者の皆様にお伝えした内容をここに掲載します。



学校の大きな課題の一つはというと、どの学校でも、必ず「学力の向上」と言う言葉が出てきます。それでは学力とは何でしょう？ ちなみに、全国学力調査、ふくしま学力調査、各学校が取り組む学力テストなどの本校の点数は、昨年度の結果ですが、どの調査でも全国平均、県平均よりもぐんと高いです。嬉しい結果ではあるんですが、それでは点数が高ければいいのでしょうか？

これからの社会は「将来を予想することが極めて困難な社会」「正解が一つとは限らない社会」とか言われます。そして、そのような社会の中で、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せを実現するには、「児童生徒に自らの力で豊かな人生を切り拓き、多様な他者と共に豊かな社会や地域を創造する力を育むことが不可欠」と言われています。そのための「学力」でなければと考えています。

そこで、今年度も、私が重視して学校を経営・運営したいと考えているのが、教育目標を達成するため、自ら「気づき 考え 行動する」というプロセスです。やがて独り立ちしないといけない子どもたちです。言われたとおりに、指示どおりに動けるだけではいけません。誰からの指示を待つのではなく、自分から主体的に物事の良さであったり、課題であったりに気づいて、その良さを広めるためには、または課題を解決するためにはどうすればよいかを考え、それを行動に移していくことができる力を含めて「学力」をつけることが大切だと考えています。本校では、授業をはじめ、全ての教育活動において、「気づき 考え 行動する」というプロセスを意識した指導を継続しながら、学力の向上に努めていきたいと考えています。

次に、少人数教育について簡単に説明します。入学式の校長式辞において1年生の保護者の方には説明させていただいた内容です。今年の1年生は33名で1学級としました。国の基準では35名までは1学級となっていますが、福島県では少人数教育を推進しており、児童一人一人のよりきめ細かな指導を進めております。低学年の場合、児童数が31名以上35名以内であれば、1学級を2人の先生が担任する「少人数指導」か、2学級に分ける「少人数学級」のどちらかを各学校が選択することになります。本校では、「少人数指導」を選択し、1年生を1学級としたということです。

最後に、コロナ禍となり3年が経過し、ようやくコロナ禍前の生活が戻ってくるのかなと思います。今後の学校教育を進めるにあたりお話しさせていただきます。

令和2年度から完全実施された新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善が大切であるとされました。そのため、体験活動や表現活動、問題解決的な学びが重視されさらにICT活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実も求められます。これらの改革を進め成果をあげるには、限られた授業時数と教職員を含めた教育資源を最大限に活かすための適切な選択が必要不可欠です。時間に追われ続けることなく、仕事に追われ続けることなく、一人一人の子どもたちに寄り添いながら、日々の学校生活や授業を充実させたいと思います。ですので、前例踏襲ではなく、一つ一つの行事や教育活動の目的や内容・方法について、「①子どもにとってどうなのか。②教職員の働き方改革の視点からどうなのか。③保護者の思いはどうなのか。」を改めて慎重に吟味・検討しながら進めていきます。

子どもと教職員と保護者が、ともに穏やかに向き合える状況の中でこそ充実した教育活動が展開できると考えています。そのような意味もこめながら、私は「皆さんで、元気で楽しい自分たちの中央台東小学校を創りましょう」という言葉を昨年度から使い続けています。ご理解とご協力をお願いします。

～豊かな体験を～



人は知恵のある動物です。様々な体験をその後の生活に活かそうとします。それが経験というものです。明日から5連休となりますが、是非、大人の見守りの中でいろいろな体験をしてほしいと思います。特別遠くにお出かけしなくても、豊かな体験は工夫次第でできます。そして豊かな体験は必ず「学び」につながります。もちろん私も、新たな気づきや発見を求めて、この連休をアクティブに過ごしたいと考えています。

それでは、事故の無い有意義な連休としてください。

